

# 申し合わせ及び注意事項

## 【申し合わせ事項】

1. 本大会は2017年度(公財)日本バレーボール協会6人制バレーボール競技規則による。但し、2項目以降はこの限りではない。
2. ベンチには有効に登録された部長1名、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、トレーナー1名、選手15名の計20名以内の着席を認める。但し、本大会のみ、リベロが1名の場合でも計15名の選手が毎試合エントリーできる。部長、監督、マネージャーのマークは各チームで揃え、必ず左胸部に付けること。また、主将のマークは胸の番号の下に付けること。マークが付いていない場合はベンチに入れない。  
尚、試合前の公式練習に際しては、上記以外のものでもフリーゾーンでのボール拾いは**服装を統一した5名まで許可するが、コート内に入ること・球出し等の練習に直接携わる行為は禁止とする。**公式練習後は速やかにアリーナから引き上げること。
3. 試合開始の際は入場を行わず全員整列をして公式練習から始める。試合開始時刻は主審が第一サービスへの吹笛を行う時刻とする。
4. 試合前の選手の集合は速やかに行うこと。試合開始予定時刻より15分経過しても選手が揃わない場合は棄権とみなす。
5. 5セットマッチの公式練習は5分間とする。両チームが合同で練習を希望する場合はレフリーに申し出ること。尚、雨天の場合は会場より考慮する。
6. 試合開始後に遅れてきたチーム役員及び選手のベンチへの着席は認めるが、そのセットが終了するまで役員権の行使は認めない。但し、選手はその限りではない。
7. ベンチには部旗(矢尻をはずした物)飲料水(スポーツドリンク用容器使用のこと)救急用具等以外の持込を禁ずる。尚、部旗は危険なため公式練習後はフロアーから出すこと。
8. トスはキャプテンによって行う。その際、キャプテンは、キャプテンマークの付いたユニホームを着用すること。また、エントリー用紙を持参すること。トスは試合開始15分前にI F席で行う。
9. 参加チームは補助役員(ラインジャッジ・点示・I F)7名責任を持って出すこと。補助役員は**必ずチーム統一の服装で行うこと。**さらに、男女1部についてはボールコレクターとして6名、J V I M S判定員として2名出すこと。また男女2部・男女チャレンジリーグは必ず副審1名を出すこと。
10. ゲーム中のワイピングはコート内の選手か、エントリー選手以外で2名まで認める。エントリー選手以外の2名の服装は選手と異なる統一したものでなくてはならない。
11. ファイブボールシステムは男女1部以外では行わない。
12. エントリー変更は各部(各週)の第1日目のチーム受付の際に所定の届出用紙で届出のあった場合に限りこれを認める。それ以後は一切認めない。但し、スタッフの変更については、試合ごとの変更を認める。
13. 閉会式は全チーム参加のこと。男女チャレンジリーグは閉会式を行わず、コート表彰を行う。
14. 試合は全て各設定時間(申し合わせ事項参照)で行う。前試合が次の試合のプロトコール開始時間5分前を超えた場合は、前試合終了後5セットマッチであれば、15分、3セットマッチであれば10分の試合間を設け、プロトコールを行う。(雨天の場合は5分上乗せする)
15. チャレンジリーグは、初日の代表者会議に必ず出席すること。欠席または遅刻した場合は各チームの第1試合は没収試合とする。尚、代表者会議開始時刻は8時45分とする。
16. 外国人選手が出場する場合は、2名までベンチに入ることを認め、コートの中に入れるのは2名までとする。(全日本大学バレーボール連盟 外国籍部員の登録及び注意事項による。)
17. ベンチスタッフの服装は、原則として正装(ジャケット)を着用するか、季節に応じたトレーニングウェアやスポーツシャツとする。但し、チームで統一されたトレーニングウェアを着用すること。部長・監督がジャケットを着用し、その他の役員がトレーニングウェアを着用してもかまわない。(私服・半ズボン厳禁)トレーニングウェアの刺繍はワンポイントまでの違いを認める。(例:アシックスとミズノのロゴ違いなど)
18. ユニホームのソックスは、**チーム内で色と長さの統一されたものを着用する。刺繍はワンポイントまでの違いを認める。(例:アシックスとミズノのロゴ違いなど)**但し、踝(くるぶし)の見える靴下を履いての競技参加は禁止する。

## 【注意事項】

1. 会場に到着したチームは、直ちに本部受付を済ませること。男女1部の各チームは、前試合開始設定時間までにチーム受付を済ませておくこと。第1試合のチームは試合開始45分前に行く。これを守らないチームはその日の試合を放棄したものとみなす。また、試合を控え立ち去るチームはその責任者の所在を本部に明確にしておくこと。
2. 大会会場は盗難事故多発のため所持品の保管は各チームの責任においてすること。
3. 選手交代の際コート内の交代競技者は速やかに手を挙げサブスティテューションゾーン(アタックラインとの間と記録席の両端までの部分)に出ること。コートに入る2人目は副審がサイドラインへ誘導するまで後方で待機する。
4. 選手番号は1~99番の数字とし、胸部と背部の中央に付けること。但し、1~15までの一連の数字が望ましい。
5. 体育館内、体育館外での履物を区別すること。
6. 練習会場は特別に設けない。試合前のウォーミングアップは注意されたことを守り迷惑のかからないように各チームは責任をもって行うこと。